

旭区太子橋連合

旭区太子橋連合では、平成16年度から、地域で開催されるイベント等において、ごみゼロリーダーが中心となり、『ごみステーション』を設置して、ごみの減量・分別・リサイクルの推進活動に積極的に取り組んでいます。

Q₁ 「ごみステーション」とはどんなものなのか？

A₁ 簡単にいうと、ごみを集中的に集めるためのシステムです。
 まず、イベント会場となる公園内のごみ箱を撤去することにより、ごみの廃棄場所を『ごみステーション』一ヶ所に集中させます。
 それにより、参加者は必然的にごみを『ごみステーション』に持ってくることになり、ごみの種類ごとに分別ボックスに投入することによって、ごみの分別が図れます。また、ごみを持ってきた参加者と会話するなかで、ごみ減量の啓発が図れる効果もあります。



Q₂ 屋台で使用する容器に「エコ容器」を使用されていると伺ったのですが？



A₂

屋台等で弁当容器として使われるプラスチック「トレイ」の代わりに、エコ食器「バガス」で作った容器を使用しています。

「バガス」とは、さとうきびの搾りかすです。バガスから作ったエコ容器は非木材パルプによって作られているため、生分解性に優れており、使用した後、軽くすすぎ地中に埋めて土に還すことができ、本来廃棄物として処理されるものが有効利用されています。

さとうきびを原材料として利用することで、森林資源の保護にもなり、使用後は燃やさず、堆肥化することによりごみ減量にもなり、温室効果ガス排出量削減にもなり、地球温暖化の防止にも役立っています。

そのため、太子橋連合として、城北公園事務所にご協力いただき、太子橋中公園の一部（1平方メートル）を借用して現在堆肥化を進めており、将来は花や野菜づくりを楽しみたいと考えています。

また、使い終わった割り箸は軽く洗ったうえで、まとめて製紙工場へ送り、再生紙としてリサイクルされています。ペットボトル・あきかん・容プラもそれぞれ分別し、再生できるものはすべてリサイクルにまわしています。

ペットボトル・スチール缶・アルミ缶・容プラ・発泡スチロール・バガス・割り箸・その他 のそれぞれボックスをごみステーションに設置し、ごみゼロリーダーが分別指導と同時に分別を実践し、バケツに溜めた水で軽くすすぎ、それぞれ用意された分別ボックスに投入します。



「太子橋連合」では毎年3回のイベントを開催しており、その都度、役割分担や事前準備の打ち合わせを行っています。また、終了後には次回の開催に向け反省会を開催しています。



笑顔でごみステーションの運営をすることにより、地域でのコミュニケーションも図ることができ、ごみ減量にもつながっていることで、やりがいもあります。これからも、こういった普及啓発活動を広げていきます。

第3回ガレージセールを開催



▲連合振興町会主催で献血の取組も同時開催されました。



▲会場内の様子。たくさんの人が集まり、にぎわいました。

平成19年4月21日(土)に住吉区山之内小学校講堂で、山之内連合振興町会と廃棄物減量等推進委員の共催で、ごみの減量やリサイクルについて考えるガレージセールが開催されました。

このガレージセールは2年前からの取り組みで、今回で3回目を迎えます。

会場内は、地域の有志らによるブースの出店者と価格交渉を楽しみながらお目当ての品を探す人やじっくり品定めをする人たちで活気にあふれていました。

また、《ごみ減量一言コーナー》では、「マイバックを持って買い物にいく」、「無駄なものは買わない」など思い思いの意見が書き込まれ、子どもたちは、割り箸工作教室やパソコンクイズを最後まで楽しんでいました。

主催した山之内連合振興町会の会長と同推進員の代表を兼務される奥井史朗さんは、「当初、西南環境事業センターから『ごみの減量は地域から』との呼びかけにより始めましたが、回を重ねる内に、地域住民の横のつながりも高まる有意義なイベントとして定着してきました。今回も多くの人に協力していただき、これからもごみ減量などに取り組んでいきたいと思います」とのことです。次回は、平成20年4月26日(土)に開催が予定されています。



奥井連合代表推進員

「ごみ減量・リサイクルに関する実践はもとより、地域のコミュニケーションが高まり、非常に有意義でありました。」



▲「推進員紹介コーナー」と「ごみ減量一言コーナー」



▲割り箸を使った工作教室。子供たちに大人気でした。

編集・発行／大阪市環境局事業部

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1 あべのルシアス13階

TEL.06-6630-3231 FAX.06-6630-3581 <http://www.city.osaka.jp/kankyojigyo/>

発行年月／平成19年9月